

『小中一貫』だより

夏休みの期間に「小中合同研修会」と「児童生徒会交流会」が行われました。

【小中合同研修会 8月4日(月)】

1. 領域部会(学習 生活 特活 特別支援): 養護部会は8月5日に実施
これまでの取り組みの確認や変更点を話し合いました。

各部会とも取り組みに対する一学期の児童生徒の様子、課題、これから必要な指導について意見を出し合いました。ここで決まったことを全員で共有し、二学期から三校足並みをそろえて実践していきたいと思います。

2. 研修

今年度は「総合的な学習の時間」について小中合同で研修を行いました
指導主事の方々から、「総合的な学習の時間」の特性やテーマの決め方、
立て方の説明があり、グループごと実際に指導計画を作っていました。



テーマを考えると、この校区の特徴を出し合いましたが、改めていろいろな
地域素材を持つ素晴らしい校区であることを実感しました。小中の枠を越えて活発な話し合いが行
われ、各グループ個性あふれる指導計画ができあがったと思います。この研修を今後の指導にいか
していききたいと思います。

【児童生徒会交流会 8月6日(水)】

各学校の児童会生徒会のメンバーが東陽中に集まり、交流会を行いました。まず会の流れの説明
があり、さっそく学校での取組が紹介されました。

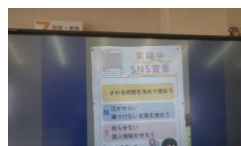
東陽中からは、各委員会の特別活動を達成したクラスの華で華束を作っていく「華束プロジェクト」、
あいさつ向上のための「一視(止)一礼強化週間」など、たくさんの取組が紹介されました。

高田小からは、年間スローガン、きずなタイム、掃除の点検や表彰の実践や学校ルール改善のため
の「もしも BOX」の取組が紹介されました。

川添小からはスローガン、1年生を迎える会、各種集会、よいところみつけを目的とした「思いや
りの木」の取組が紹介されました。

その後、三つのグループに分かれ「きずなミーティング」を開き、三校で決めた「SNS 宣言」につ
いての現状と改善点について意見交換しました。各グループとも中学生がリーダーシップを取り、
話を進めていました。少し緊張気味の小学生を気遣いながらも、しっかり意見を述べている中学生
の姿に感心させられました。

最終的に、三校共通して「スマホを使う時間
が守れていない」という課題がわかり、改善
の方策も自分たちで見出していました。



ミーティングで決めたことを持ち帰り、
中心となって各校に広げてほしいと思います。

今後もさまざまな形で児童生徒どうしの
交流の場をつくっていかれたらと思います。

